



# 實性

平成二十九年 第二号 春彼岸発行

## 春

### のお彼岸のご案内

#### お彼岸の由来

春のお彼岸は、春分の日（三月二十日）を中日ちゆうじちとした前後三日間の、計一週間をいいます。

「彼の岸かきし」と書きますが、これは、私たちの住んでいる世界とは別のあらゆる苦しみのない世界、つまり、極楽浄土をさしています。

經典には、極楽浄土は、はるか西の彼方かなたにあると記されています。そして、夕陽が真西に沈む春分の日こそが、極楽浄土への願いを確かなものにする日として最も適していると、そのように説かれたことに基づいた行事が「お彼岸」です。

ともすれば私達は、極楽往生が叶うか不安に思ったり、亡くなられた方々への思いを忘れることもあるでしょう。「お彼岸」は、亡き人々への真心を捧げることのできる大切な機会です。

ご自分自身、そして、すべての人々の極楽浄土を願い、先立った方々、ご先祖様へのご回向のため、感謝のこもったお墓参りを致しましょう。

### 彼岸会法要

● 三月二十日（月） お中日

午前十一時より

参加費（お布施） 五千元

お彼岸入り 三月 十七日（金）

お彼岸中日 三月 二十日（月）

お彼岸明け 三月二十三日（木）

皆様お揃いで是非ご参加下さい。



## 法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」(ぎよぎ)と読みます。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。

大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。(本堂脇にお祭りしてあります。)



法然上人涅槃図

## 涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝導の旅の途中、病にたおられ、死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされました。

頭を北に、顔を西に向け、十大弟子、老若男女、鳥獣たちさえも嘆き悲しむ様子、また、とうり天より駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。

この涅槃図も本堂内にお祭りしていますのでどうぞお参り下さい。



お釈迦様



釈迦涅槃図

## 修正会報告

年の初めの最初の法要「修正会」が例年の通り一月三日に厳修されました。

国家安泰・日月照明・家内安全・無病息災・心願成就・先祖代々等をお祈り申し上げ、皆様と共に勤めをいたしました。絵馬にはそれぞれの願いをお書きいただき、奉納いたしました。

清宴（新年会）では、衆議院議員・實性寺総代でもあられる鴨下一郎先生に新年のご挨拶をいただき、柳家我太楼師匠の司会進行のもとビンゴゲームでお楽しみいただきました。来年度の修正会も皆様のご参加をお待ちしております。



## 浄土と天国

亡くなった方が赴くところ「天国」と表現することがあります。キリスト教に由来するこの言葉は一般的に、「苦しみのない世界」の代名詞となっているようです。

仏教ではそれを、仏様が作られた国、すなわち「浄土」と説きます。私達浄土宗は、お念仏を唱えることで、阿弥陀様の極楽浄土へ往生させていただくことを主旨としています。

「天国」と性格を異にするのは、安らかな世界に行くだけ为目的ではないという点。極楽に往生したいなら、清らかな世界で阿弥陀様から教を頂き、仏様となってご縁のある方々を教え、導きお守りしてくださるのです。

極楽往生を願う意義とは、自分の苦しみから離れるとともに、周りの人に幸せを与える存在になりたい、という点にあるのです。



## ご法事

❖ご法事には、「年回の法事」「祥月命日の法事」「先祖代々供養の法事」等がございます。

❖ご供養には、卒塔婆供養（施主用大卒塔婆、普通卒塔婆）があります。

❖お供え物は、「果物」「お菓子」がございますが、生前好きだったものをお供えするのが好ましいと存じます。

尚、仏様になられておりますので、「生息物」は避け、精進のものが良いと思います。

❖お酒、たばこ類は、仏様になられますと好まないといわれておりますが、差し上げてもよろしいのではないかと存じます。

❖生花は、「慈愛」をあらわすものにて、こちらも生前好きだった花があれば供えられるのもよいとおもいます。

## お墓参り

❖お墓参りにこられましたら、まず御本尊様に手を合わせましょう。これは、阿弥陀様に合掌することにより、功德をいただき、その功德をお墓の諸霊に振り向けることです。すなわちこれが「回向」です。そして、お帰りにはご回向できた御礼の合掌をいたしましょう。また、お参りを済ませましたならば、ご自身がお参りできた事の喜びの一環として、無縁様（ご回向の縁のない諸霊）に手を合わせたいものです。

❖お線香を供えるには、なるべく香りの良い物を差し上げて下さい。一本でも、あるいは半分は十分に折つても十分です。

❖ご持参のお線香を、ご自身で火を付けるのは危険です。どう

ぞ玄関でお申し付け下さい。（もちろん無料です）  
❖お供え物は、カラス・猫等が汚しますので、お墓参りが済みましたらお持ち帰り下さい。

## 花まつり

四月八日（金）は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。「灌仏会」といいます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝いいたしましょう。

お彼岸より本堂前（御拝）に花見堂が出ておりますのでどうぞお参り下さい。

（お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています）

● 日時 三月下旬より四月上旬まで

午前十時より午後四時まで

● 場所 實性寺 本堂前（御拝）

# 花まつり





今年も境内に紅白の梅が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでぜひご覧下さい。



紅梅



白梅

お彼岸の頃には、白木蓮等が咲いていると思います。



葉牡丹



水仙

☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八  
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

